

FORZA 駒澤 選手紹介 PART14

桐原聡太郎 (DF・4年)

皆さんお待ちたせいたしました！第14回目の選手紹介は、高い・強い・面白いという三拍子そろった桐原選手です。その恵まれた体格からサッカーではハードメーカーであると同時に面白いことを言い続けているという私生活。最後には後輩へ伝えたことも語っていただきました。

Jリーグがサッカーを始めるきっかけ

小学校2年生くらいから野球をやっていた、4年生くらいにJリーグが始まって周りの友達に皆サッカーをやりにだして、まあJリーグがきっかけでサッカーを始めました。ヴェルディが好きでした。カズ・ウィセル神戸がいたんで。小学校のチームでやり始めました。ポジションはオールマイティですね。キーパー以外はやりました。練習は楽しかったです。基礎が中心です。ここで基礎もできましたが、サッカーの楽しさを知りました。監督は石橋貴明に似てて(笑)。すごい厳しかったですね。試合中も監督の目を気にしたり。地区大会で優勝して、得点王になりました。この頃は恥ずかしがり屋でした。でも人を笑わすことは好きで、それは今も変わっていないんですけど。勉強はできませんでした。スポーツ一筋で。野球はすぐにやめてしまったんですが、今も続けてたら絶対プロでした(笑)。ホームランとか本打打ってたんで。自分で言うのはあれなんですけど(笑)。一番学んだことは、サッカーの楽しさです。サッカーをやって友達もできたし、チームプレイなんでも心のコミュニケーションのとれるっていうか今でも通じるものがあります。中学校は本当にやばかったんで。めっちゃ弱かったです(笑)。グラウンドは駒澤の半分くらいしか



なくて。それでいて野球部とテニス部とか5つの部で兼用で使っている。だからミニゲームしかできない。指導の人も途中で代わっちゃって。素人の人が来たりと。俺はもう強くなりたかったんで。これじゃあダメだと思って。厳しくやってました。ユースとか無いし、恵まれてない環境でした。監督はいい人がやってたんですよ。気まずかったですね。2年生のときに新しい先生が来て、その先生は盲学校から来たんです。盲学校の人と試合やらされて、最初は意味ないよって思ったんですが目の見えない人が必死でボールを追いかけてて最後まであきらめずやってくる姿を見て衝撃を受けました。確かにこの先生は素人でサッカーのことは全然でしたけどついていかなきゃって思いました。ポジションは意外と中盤とかやってました。今ではありえないですけど、ドリブルとかやってました(笑)。常に勝ちたいと思っていました。サッカーに対しては厳しい姿勢でした。キャプテンは良い奴でしたけど、俺はやる気無いならやるよとか言う先輩でした。

ですが、試合には出てないですね。部員が8人くらいいて。辞めさせるためだと思っただけで、最初めっちゃ弱く走らせられるんですよ。もう家畜のように扱われて。本当に(笑)。ブラジル人のコーチがいて「サッカー選手は体脂肪は11%じゃないやだめだ」とか言って、走らせるんですよ。最初は15%とかあって、1年くらい走らされて。11%きつたら本当出るくらい嬉しかったですね。やっとサッカーできると思って。この頃は本当ストイックにやりました。食生活気にした。下宿の周りを夜中誰にもわかんないように走ってました。上下関係も厳しかったし、部員も4年時には30人くらいに減ってました。上に松井さん(フランス・ルマン)と那須さん(横浜F・マリノス)が居たんですけど。やっぱりこの二人は違いましたね。松井さんは持っているもの、才能から連くて、テクニクとか半端ない。私生活は関西人のノリで面白かったですけど、サッカーに対しては真面目でした。那須さんは努力家ですね。ミスターストイックですね。今でもお手本です。サッカー上手い人はたくさんいるじゃないですか、あの人は人間的にも素晴らしい。銭湯とか閉まっちゃうくらいまで自主練習して、下宿の前の水道で真冬でも水浴びて。那須さんのこと考えて、努力するようになった。試合に出られるようになったんです。

「あきらめない」精神を学んだ大学4年間
プロに行きたくてだったらレベルの高い関東の大学に行こうと思って、自分の技術も向上できるしJも1番近いんじゃないかと思って、セレクション受けて。那須さんが居たこともあり。そういう意味では道を開いてくれました。大学はベンチとか入るだけで、出場機会には恵まれません。Jリーグとかでは常に一定の力を出すように努力しました。秋田監督は面白い人で、チームの士気も高めてくれるし、私生活のことも言ってくれる。大学生活で学んだことは『あきらめない』ってことです。僕らの学年は本当が良い。何でも言えるし。チームでは面白いこと言おうって常に思ってます(笑)。後輩にはサッカーの根本だと思っただけのことを忘れるなっていうことを伝えたいです。やっぱりそれが一番大事ですから。

PROFILE
●桐原 聡太郎 / 1982年11月15日生まれ 184cm、74kg。可愛小・川内北中・鹿児島実業高。家族構成は父、母、姉3人。好きな選手は中澤佑二(横浜F・マリノス)。得意なプレーはヘディング。趣味は買い物。

佐々木滋から見た 桐原聡太郎

でかいんだからもっと頑張ってください。俺にヘディングで競り負けないでください。

決勝は国立で立命館大と対戦!

<場所> 国立霞ヶ丘競技場
<日程> 1月16日(日) 13:00
競技場へのアクセス
● JR総武線信濃町駅下車、徒歩8分。または千駄ヶ谷駅下車、徒歩5分。

～お知らせ～
FORZA駒澤は毎週、駒澤大学校舎内の食堂にあるアイスクリーム売り場、学生部に設置しました。毎週金曜日に置いておくので、ご自由にお持ちください。

発行人 スタッフ 野澤俊介 永峰 綾 越智千絵子 山本麻紗子 伊藤俊彦 遠藤雅之 川崎篤彦 関 翔一 深松美里 宮下邦彦

FORZA駒澤は毎週金曜日に発行し、お便り、感想などはこちらまで
〒154-8525 東京都目黒区駒澤1-23-1
駒澤大学マスコミ研究所内(駒大スポーツ・サッカー部)
Eメール forzakonezawa@hotmail.com
TEL FAX 03 (3418) 9556 発行人 野澤俊介